

補正予算

▽平成28年度館林市一般会計補正予算(第1号) 119893万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ280億8693万3000円とするもので、全員一致で可決されました。

報告

▽平成27年度館林市一般会計繰越明許費の繰越報告について 平成27年度館林市一般会計補正予算(第4号)において、情報化推進事業2240万円、公共交通整備事業1272万3000円、臨時福祉給付金事業2億3319万2000円、土地改良事業800万円、観光宣伝事業1050万円、観光対策強化事業300万円、公園管理250

※繰越明許費とは

予算成立後の事由等により、年度内にその支出が終了しない見込みのものについて、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して支出することができ経費をいうものです。

万円、小学校施設整備事業806万1000円を繰越明許費として設定し、繰越計算書のとおり平成28年度に繰り越したことにについて、報告されました。

請願の審議結果

▽戦争法(安保法制)の廃止を求める意見書の採択を求め請願11賛成少数により不採択となりました。

▽保育士等の処遇改善と職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める請願書11全員一致により継続審査となりました。

※継続審査とは

会期中に議決されなかった議案や請願などは、原則として次の会期には引き継がれることなく、廃案となりますが、その例外として、本会議の議決によって、付託された委員会が閉会中や次の定例会でも引き続き審査を行うことがあります。



常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は、議案1件と請願1件で、議案については、館林市税条例等の一部を改正する条例で、委員からは、スイッチOTC薬と薬局で買った薬との違いや、対象となる医薬品の市民への周知方法などについての質疑がなされ、採決の結果は、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと議決されました。

また、戦争法(安保法制)の廃止を求める意見書の採択を求める請願の審査では、安保法制の廃止と集団的自衛権の行使を容認した閣議決定の撤回を求める意見書を提出してほしいという本請願の趣旨を踏まえて審査が進められ、委員からは、最近の中国や北朝鮮の動向といった軍事的脅威には、今までの個別的自衛権による専守防衛で十分対応できるので、安保法制の

中で容認された集団的自衛権は必要ないことなどから、憲法違反である法律を廃止すべきという意見がありました。また、他の委員からは、安保法制は他国防衛のための集団的自衛権ではなく、専守防衛を堅持していることから、憲法違反でないぎりぎりのところで頑張った法律ではないか、という意見や、現在の日本の海や空を取り巻く状況は、全て話し合いで解決できるような問題ではなく、抑止力が必要であり、この国をどうやって守るかということが議論の中心であって、憲法違反かどうかとの議論ではないのではないかという意見などがありました。

本請願については、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと議決されました。そのほか、議会から推薦する各種委員会委員のうち、館林市空家等対策協議会委

員に橋本徹議員を選出し、その後、館林市文化会館大ホール棟耐震等改修工事の現地視察と、赤羽公民館体育館等の現地視察を行いました。



赤羽公民館体育館の現地視察

市民福祉

付託された案件は、保育士等の処遇改善と職員配置基準の引き上げの緊急対応と財源確保を求める請願書の請願1件で、委員会では、保健福祉部からの参考意見の陳述がなされた後に審査が進められ、委員からは、保育士等の処遇改善等は早速に実施していただきたいが、安定的な財源確保に